

明日の会社

会社の存在理由について？

- 強みは何ですか
- 何を売りたい、売るので
- 何か
- お客はなぜ、オカネを払ってくれるのですか
- 会社は誰のためですか
- 良い仕事とは何ですか
- 危機感がないことは正常なのですか

- お客の潜在意識に、需要があるのではないですか
- 会社は社会のためにプラスになつていきますか
- 一人々が個人店主になるべきでないですか

存在理由を質問されたら、即座に全社員が回答できたら・・・それは実に素敵な会社です。

理念や目標の無い会社

は結果的に、おしなべて衰退していくことが多いものです。

これまで、上手く行つたのはそれは偶然です。単なる右上がりの時代で、運が良かっただけなのです。

リーダーが謙虚さを常に失わず、素直な会社は、空気自体が明るく澄んでいますね。

国も同じですが、次の一手、その次、次と、打つ手を出せないリーダーや会社は、事象に翻弄されるだけ、確実に取り残されます。



財務省主導の陸海空における役所の規制と権益の中で存在し生きられない会社は、新時代の明らかな斜陽産業と思うのです。

税理士会・会計事務所自体がインゲンチャク、典型的な見本であります。生か

奉仕し親切にする。

サービスのレベルに売上が比例する。

サービスとはスピンド。

行動を見れば意識レベルが分かる。

自分が全力を尽くしてやったことは、自分のもとに戻つ

サービスの本質

基準、期待、想定を超えるサービスを提供。

評判は、良いか悪いかのどちらかだ。

他人に奉仕することほど高尚なことはない、多くの人々の福利のために働くことは、もっとも偉大な信仰である。

自分自身の良心で判断。客のためになんでもする。



さず殺さずです。

戦後の歴史で、日本に世界的なサービス産業は出ないと証明されています。

国・県・市の役人の天下りを受け入れる、しがらみの会社自体は絶対に不純だと思ふ。サムライの国は死んだか。

気配です。

まさに私たちがマスコミに踊らされ、人任せにして招いた「天罰」を、これからゆつくり受けるのかも知れません。

国民の奉仕者である官僚は、罰を絶対に受けません。極悪人は法で言う所の犯罪が成立しないからです。

◇ 国際紙でも、原発事故による風評被害は世界に広がっています。

輸出される農産物に限らず、輸出品目のくず鉄、古紙他すべてに被害が広がる

白雪姫の毒リンゴは日本産

裁かれるのは選挙で「政治家」だけです。総理はこの間、一度も国民の審判を受けていません。これまでの選挙で、ことごとく連戦連敗の見事なまでに敗北を記しています。これは国民の誰もが信任していないことと同じです。